

京都大学多文化共学短期[派遣]留学プログラム  
2022 年タイ・チュラーロンコーン大学スプリングスクール(オンライン)のご案内

Spring Intensive Course for Thai Language and Culture

2022

申込締切: 2022年 1月 11日(火) 12:00 正午

【研修日程】

2021年 2月 14日(月)～2月 25日(金) : 講義および研修(オンライン)

【プログラム概要】

本プログラムでは、タイ王国で最も古くに設立された、伝統あるチュラーロンコーン大学によるタイ語授業および文化についての講義、タイ文化体験、タイ語母語話者との日本語も交えた交流と発表討論の機会をオンラインにて提供します。タイの言語、文化、社会、歴史等について知識を深めるとともに、高度な異文化理解・交流の機会を得ることができます。

【募集詳細】

募集人数: 8名程度

募集対象: 京都大学に在籍する正規の学部生および正規の修士課程大学院生

(大学院生は、文学研究科・教育学研究科・経済学研究科・農学研究科・アジア・アフリカ地域研究研究科・経営管理大学院に所属の者を優先する)

応募条件: 異文化体験・異文化学習に意欲を持つ者

【費用詳細】

参加費用: 5,000円～10,000円程度(最終的な自己負担額)

※為替の変動により、費用は多少の増減の可能性があります。

※上記は、①アジア研究教育ユニット(KUASU)補助金(5,000円程度)、②大学補助(50,000円)を差し引いた金額となります。補助を差し引く前の参加費は③60,000円～65,000円です。

※①は予め③から差し引かれ、②はプログラム終了後に参加者へ振り込まれます。すなわち、参加者は一旦55,000～60,000円程度を支払い、修了者には大学補助として50,000円が支給されます。

※プログラムを修了できない場合、大学補助は支払われません。

※最終決定通知後に参加を取りやめる場合、キャンセル料が発生します。

(上記費用に含まれるもの)研修費用、(含まれないもの)個人的な諸費用、通信費

【申込み】

申請手順:

1. プレ応募フォームに入力してください。5分程度で完了します。

<https://forms.gle/uGJftqSYjHfFz4YbA>

2. オンライン申請を行ってください。

以下の<URL>に必要事項を入力し、プログラムへの申請を行ってください。(下記3.の書類をそろえた上で、2の入力を開始することを勧めます。)

<https://area34.smp.ne.jp/area/p/nita0mjmel1pepbt9/hbbQ7J/login.html>

※ログインID及びログインパスワードはKULASISに掲載(全学生向け共通掲示板→【留

学情報はこちらを Click】)

3. 以下の書類 a-dをそろえ、上記のオンライン申請ページにアップロードして下さい。
  - a. 志望動機(書式自由、所属・学年・氏名を明記のこと、A4X1 枚程度)
  - b. 誓約書(自署つき)
  - c. パスポートの顔写真ページのコピーまたは英文在学証明書
  - d. 成績証明書

誓約書は下記 URL からダウンロードしてください。

<アジア研究教育ユニット> <https://www.kuas.cpi.kyoto-u.ac.jp/>

<KULASIS> <https://www.k.kyoto-u.ac.jp/student/>

全学生向け共通掲示板→【留学情報はこちらを Click】

**【選考】** 書類審査およびグループ面接により行います。

### 【スケジュール】

**申込締切: 2022 年 1 月 11 日(火) 12:00(正午)**

面接:	2022 年 1 月 13 日(木)	12:10-12:30 /12:40-13:00 18:30-18:50 /19:00-19:20
予備日:	2022 年 1 月 14 日(金)	12:10-12:30 /12:40-13:00 18:30-18:50 /19:00-19:20

※面接はオンライン実施。

最終結果通知: 2022 年 1 月 18 日(火)

オリエンテーション: 2022 年 1 月 20 日(木) 12:10-12:50

※合格者オリエンテーションは対面で行います。出席必須。

タイ語会話教室及び発表準備演習: 2022 年 2 月 1 日~10 日の間 (10 時間・参加必須)

### 【備考】

- ・同時期に実施される他プログラムとの併願を認めません。
- ・国際高等教育院附属 日本語・日本文化教育センター提供の全学共通科目「日本語・日本文化演習」(2021 年度後期: 火曜 2 限)を受講した上での参加を推奨しています。
- ・自然災害等その他事由により、プログラムが中止になることがあります。
- ・本プログラムの受講は、文学研究科・文学部提供の多言語多文化科目「タイ研修」(アジア研究)の単位に充当される場合があります。
- ・本プログラムは「開かれた ASEAN+6」による日本再発見—SEND を核とした国際連携人材育成」から京都大学アジア研究教育ユニット、京都大学重点戦略アクションプランによって引き継がれた 支援体制のもとでおこなわれます。

**【本件照会先】** 国際高等教育院 河合 淳子  
学際融合教育研究推進センター 西島 薫

[ryuga-east.asia@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:ryuga-east.asia@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp) (短期留学プログラム東アジア代表アドレス)